

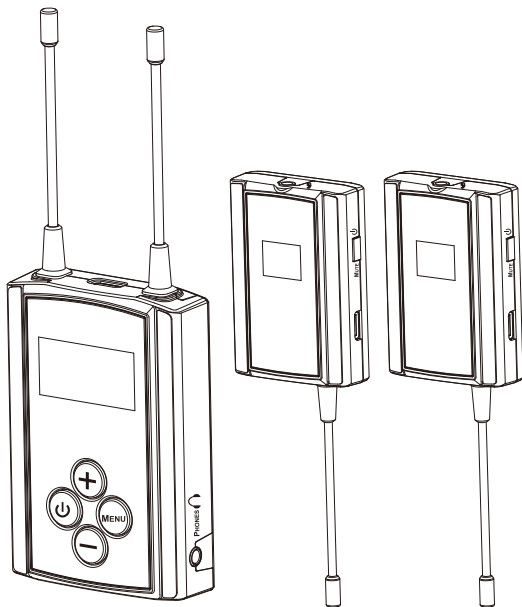
Classic Pro

カメラ用ワイヤレス・マイクシステム

CWC802

取扱説明書

Ver. 1.1



目次

はじめに	2
主な特徴	3
安全上の注意	3
同梱品	4
製品仕様	5
トランスミッター	6
レシーバー	8
システム・セットアップ	11
ペアリンクの仕方	12
リセットの方法	14
使用上の注意	15
チャンネル周波数情報	15

はじめに

この度は、CLASSIC PRO CWC802をご購入いただき、まことにありがとうございます。CRC802は、レシーバーをカメラにセットし、2台のトランスミッターから、音を同時に集音できる小型ワイヤレス・マイクシステムです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

主な特徴

- ・ステレオ/モノラル切り替えスイッチが付いたデュアルレシーバーにより、2つの独立した音源を個別に、またはステレオで録音可能。
- ・クイック・ゲインコントロール搭載
- ・40Hz~18kHzの周波数特性による遅れの少ない高品質オーディオ再現性・通信距離は最大100m（室内、障害物なし）。クリアな音質を実現。
（注：電波の到達距離は、電波条件、反射や干渉の有無、送信出力により異なります）
- ・大型ワイドディスプレイには、チャンネル番号、音量、信号強度、ステレオ / モノラル、バッテリー残量などを表示。
- ・軽量で持ち運びに便利。快適な装着感。
- ・カメラやビデオカメラに簡単にセット可能。
- ・内蔵のリチウム・ポリマー電池により最大6時間使用可能。
- ・充電用 Type-C USB コネクタ搭載

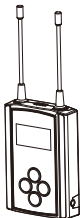
安全上の注意

1. ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
2. 水に入れたり、濡らさないでください。
3. 落下しないように安定した場所に取り付けて使用してください。
4. 著しく高温になりやすい場所や湿度の高い場所を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用ください。
5. 本製品をむやみに分解しないでください。故障が生じた場合は、販売店、もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

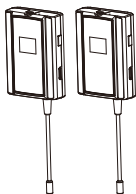
同梱品

本パッケージには次の部品が含まれています。

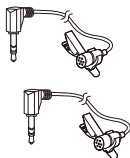
レシーバー×1



トランスミッター×2



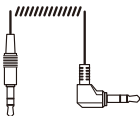
ラベリアマイク×2
(TY-90U)



ウィンドスクリーン×2

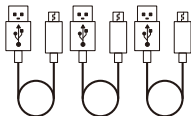


オーディオケーブル×1
(SC3)



3.5mmTRS - 3.5mmTRS

充電用USBケーブル×3
(USBY2)



USB Type-A - Type-C

スマホ用アダプター×1



キャリングケース×1



製品仕様

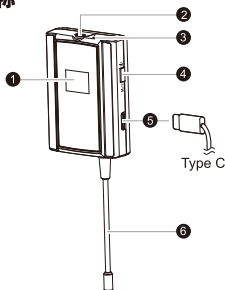
品番	CM2
周波数コントロール	PLL synthesized control OSC
モジュレーション方式	ワイドバンド FM
キャリア周波数幅	UHF 806-810 MHz
周波数特性	40Hz~18kHz
ダイナミックレンジ	>80dB
S/N比	75dB
THD@1kHz	<0.5%
通信範囲	屋内 100m、屋外 150m*
使用環境温度	-10~50℃

※注：電波の到達距離は、電波条件、反射や干渉の有無、送信出力により異なります

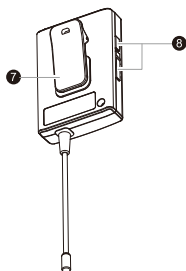
	トランスミッター	レシーバー
RF 出力	10mW	-
オーディオ入出力	マイク入力 ×1 内蔵マイク ×1	ヘッドホン出力 ×1 オーディオ出力 ×1
操作ボタン	電源/MUTE、+、-、MENU	電源、+、-、MENU
電池	リチウム・ポリマー電池 630mAh/3.7V	リチウム・ポリマー電池 1300mAh/3.7V
電池使用時間	約 5 時間	約 6 時間
充電時間	約 3 時間	
ディスプレイ表示	チャンネル、電池レベル、 入力信号レベル	チャンネル、電池レベル、 音量、出力信号レベル
寸法(W×D×H)mm	44×16×63	56×18×82
質量	39.5g (電池含む)	67g (電池含む)
色	黒	黒

トランスミッター

各部の名称

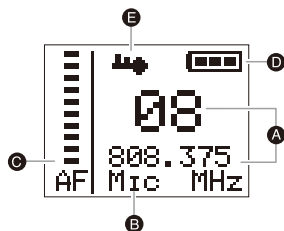


- ① 有機ELディスプレイ
- ② マイク/オーディオ入力 (3.5mm ステレオミニ)
- ③ 内蔵マイク
- ④ 電源ON/OFF、Mute ボタン
- ⑤ USB 充電ポート (Type-C)



- ⑥ アンテナ
- ⑦ ベルトクリップ
- ⑧ MENU、「+」、「-」ボタン

ディスプレイ



- Ⓐ チャンネル番号、周波数
- Ⓑ MIC/LINE 入力レベル
- Ⓒ オーディオ入力レベルメーター

Ⓓ 電池レベル・インジケーター

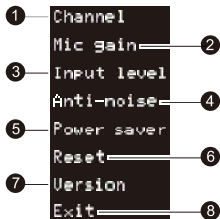
表示	状態
	フル充電
	残量 70%
	残量 30%
	点滅 残量わずか

Ⓔ ボタンロック表示

「MENU」ボタンを5秒以上長押しすると、すべてのボタンがロックされます。再び5秒以上長押しするとロックが解除されます。

MENU画面と設定

メインメニュー画面



側面にあるボタンを使い、機能を選択し設定を変更します。



- A. 「MENU」ボタンを押してメニューの選択画面を表示します。
- B. 「MENU」ボタンをもう一度押して機能の選択画面を表示し、「◀ADJ▶」ボタンを押して設定を変更します。
- C. Exitを選択するか、長押しして設定を保存しメインメニューに戻ります。

① Channel

使用するチャンネルを選択



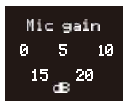
⑤ Power saver

On: 10秒間操作がないと画面を暗転
Off: 常に画面表示



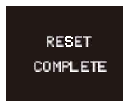
② Mic gain

マイクゲインを調整
(+0/5/10/15/20dB)



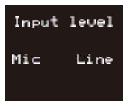
⑥ Reset

工場出荷時の設定に戻す



③ Input level

入力レベルを選択
(Mic/Line)



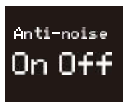
⑦ Version

モデル番号と現在のバージョンを表示



④ Anti-noise

ノイズをカット



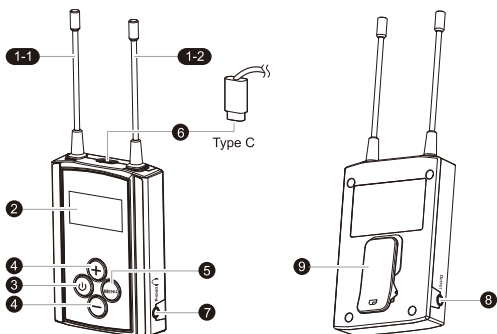
⑧ Exit

設定を保存してメイン画面に戻る



レシーバー

各部の名称



1-1 アンテナA

1-2 アンテナB

2 有機ELディスプレイ

3 電源ON/OFFボタン

4 調整「+」「-」ボタン

5 MENUボタン

6 USB電源ポート(Type-C)

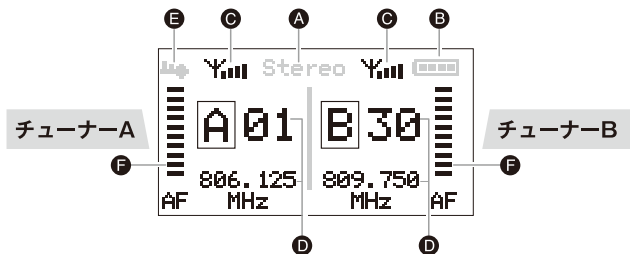
7 ヘッドホン出力端子(3.5mmステレオミニ)

8 オーディオ出力端子(3.5mmステレオミニ)※

9 ビデオカメラ・ホットシュー取り付け用クリップ

※ビデオカメラ等のオーディオ入力端子と接続

ディスプレイ



Ⓐ STEREO/MONO表示

Ⓑ 充電レベル

表示	状態
	フル充電
	残量 80%
	残量 60%
	残量 30%
	残量わずか

Ⓒ 電波強度

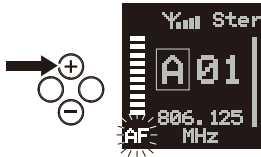
Ⓓ チャンネル番号、周波数

Ⓔ ボタンロック表示

「MENU」ボタンを5秒以上長押ししてすべてのボタンがロックされます。再度、「MENU」ボタンを5秒以上長押しして解除されます。

Ⓕ オーディオレベルメーター

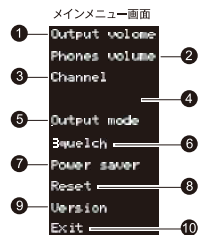
⊕ ボタン長押しでチューナーAの入力レベル調整にアクセス可能。



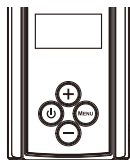
⊖ ボタン長押しでチューナーBの入力レベル調整にアクセス可能。



MENU画面と設定



ボタンの説明



調整するチューナー
「A」「B」を選択します。



パラメーターの値を
調整します。



各種メニュー画面に
入ります。

※補正レベルが適正なら、必要な信号(音声)だけを受信できます

① Output volume

出力音量の調整



⑥ Squelch

受信感度補正レベル切替*

Hi : 補正高(感度低)
Mid : 補正中(感度中)
Low : 補正低(感度高)



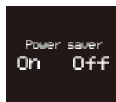
② Phones volume

ヘッドホン出力の音量
調整



⑦ Power Saver

On: 10秒間操作がないと
画面を暗く
Off: 画面を常時点灯



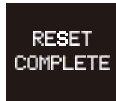
③ Channel

使用するチャンネルを
選択



⑧ Reset

工場出荷時の設定に戻る



④ Output level

出力レベルを選択
(MIC/LINE)



⑨ Version

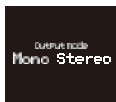
モデルナンバーと
バージョンを表示



⑤ Output mode

出力モードを切替
(Mono/Stereo)

短くパワーボタン⏻を押すと
素早く切り替えられます



⑩ Exit

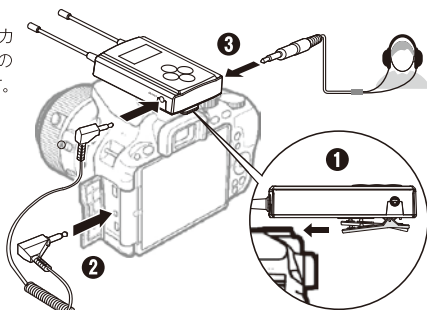
メイン画面に戻る



システムセットアップ

カメラへの取り付け (レシーバー)

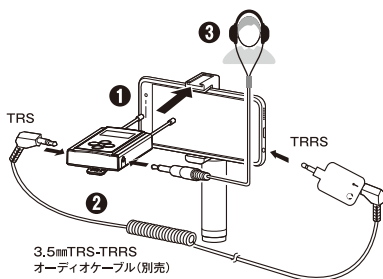
- ① カメラのホットシューにレシーバーを取り付けます。
- ② レシーバーの出力端子とカメラの入力端子を付属のSC3ケーブルで接続します。
- ③ ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。



3.5mmTRS-TRS
オーディオケーブル(SC3)

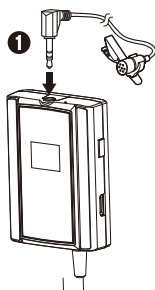
スマートフォンへの取り付け(レシーバー)

- ① シューマウントにレシーバーを取り付けます
- ② スマートフォンのヘッドホンジャックにTRS-TRRSケーブル(別売)のTRRS端子を接続、レシーバー出力端子にTRS端子を接続します。
- ③ ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。



TRRSアダプターを使用
することもできます。

トランスミッター



- ① 付属のラベリアマイクをトランスミッターのオーディオ入力に接続します。

トランスミッターにはマイクが内蔵されています。外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクの入力はミュートされます。

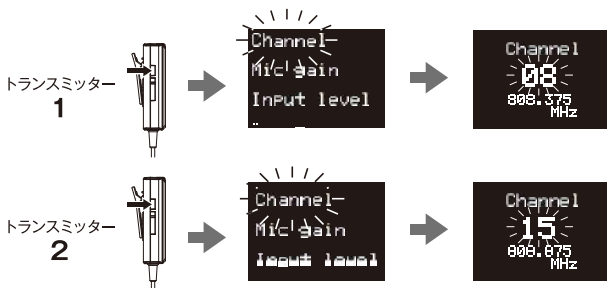
屋外や風が強い環境での録音の際には、付属ウインドスクリーンの使用を推奨します。

ペアリンクの仕方

トランスミッターとレシーバーの電源を入れ、1台ずつペアリングを行います。

1. トランスミッター

「menu」ボタンを押し、「Channel」設定に入り、希望するチャンネルを選びます。2台のトランスミッターのチャンネルが同じにならないように設定してください。



2. レシーバー

ここでは、チューナーAを1stトランスミッターに。チューナーBを2ndトランスミッターとペアリングします。

1. 「menu」ボタンを押し、「Channel」設定に入ります。「A」が点滅しているのを確認し、「+」「-」ボタンで【トランスミッター1】と同じチャンネルを選びます。



2. 次に「power」ボタンを一回押して、「B」が点滅しているのを確認し、同様に「+」「-」ボタンで【トランスミッター2】と同じチャンネルを選びます。



3. 設定を終了したら、「Menu」ボタンを押します。「Exit」を選択するか、20秒間待機すると、設定を保存し、メイン表示に戻ります。「A」「B」それぞれのシグナルの強さ“Y...”を確認します。

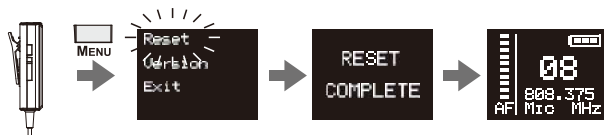


リセット方法

設定を工場出荷時に戻します

「MENU」ボタンを押して「Reset」を選択します。

トランスミッター



レシーバー



ハードリセット

本製品の操作がフリーズして応答がなくなったとき、 ボタンを5秒間長押しして本製品をリセットすることができます。

ボタンをもう一度押すと、電源がOnになります。

トランスミッター



レシーバー



5秒間長押し

使用上の注意

1. バッテリーの残量に注意し、適時に充電してください。
2. 両方のチャンネルと周波数を確認してください。トランスミッターのチャンネルは重複しないようにしてください。
3. できるだけ見通しの良い場所で使用してください。
4. 通信状態が良好なチャンネルを使用してください。
5. 使用中はアンテナを握ったりしないようにしてください。
6. ヘッドホン等で受信状態を確認し、電波の干渉が起こっていないことを確認してください。
7. トランスミッターの入力レベルを調節し、再生が最適になるよう調節してください。
8. 最適な音量と S/N比が得られるようにレシバーの出力レベルを調節してください。
9. フル充電された時は、充電ケーブルを抜いて過充電を防止してください。
10. 水に入れたり、濡らさないでください。ホコリが多い、著しい高温や湿度の高い場所は避け、できるだけ通気性の良い場所で使用ください。

使用周波数情報

周波数 : 806~810 MHz
チャンネル数 : 30

株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222
<https://www.soundhouse.co.jp> E-mail: shop@soundhouse.co.jp